

<リタリン> 適正使用のお願い



【リタリン】塩酸メチルフェニデートの商品名。

効能効果・用法用量・使用上の注意などを踏まえ、適切な診断を行った上で処方を行うこと、ならびに向精神薬の調剤の際には処方箋に係る疑義紹介の徹底、偽造処方箋による向精神薬の調剤が行われることが内容、処方箋確認の徹底等配慮すること（厚生労働省医薬食品局長通知・平成19年9月21日付け）

不適正な使用例

- ① 患者が多数の診療所を掛け持ち受診してリタリンを大量に服用・・・本剤を処方する前に、他院でリタリンの処方を受けていないかを確認すること
- ② 患者がリタリンの処方箋をカラーコピーし、保険薬局を渡り歩いた・・・処方箋に疑義があるときは処方医に確認すること

使用上の注意

- ① 十分な鑑別診断のもとにうつ病ある地はナルコレプシーであることを確認する
- ② 抗鬱薬で効果の不十分な難治性うつ病、遷延性うつ病に適応。他の抗鬱剤で十分な効果が得られないことを確認後、他の抗鬱薬と併用する
- ③ 患者からの求めがある場合、依存の可能性があるので、リタリンの投与の必要性について十分検討する
- ④ 1回の処方はなるべく短期間年、用量が増大するなど効果が得られない場合はすぐ中止する

効能又は効果

ナルコレプシー・抗うつ薬で効果の不十分な下記疾患に対する抗うつ薬との併用
難治性うつ病、遷延性うつ病

用法及び用量

ナルコレプシーには、塩酸メチルフェニデートとして、通常成人1日20～60mgを1～2回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

難治性うつ病、遷延性うつ病には、塩酸メチルフェニデートとして、通常成人1日20～30mgを2～3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。